

リビングマルチ

リビングマルチとは抑草や天敵の確保などを目的に、作物の畝間に麦類を作付けすることです。

小川町推進協議会では2011年度から取り組みを行いました。

11年は種苗会社で販売している、夏枯れの時期の違う品種を試験してみましたが、種が高く播種量が少なく麦が雑草に負けてしまいました。

2012年はくず麦を使用し播種量をふやしました。

対象作物はナス、ピーマン、キュウリ、オクラ等、カボチャ、ズッキーニ等、サツマイモで下記の効果がありました。

1. 抑草 耕うん後くず麦をすぐ播種すれば麦の生育が早く、雑草を抑えてしまいます。昨年行った作物すべてのもので、効果がありました。欠点は麦が作物に施肥した肥料を吸い、作物の伸びが例年より悪くなってしまうことで、追肥をかなり早くに行うことで対処しました。



2. 土壌保全 風の丘ファームの畑はほぼ傾斜地で、傾斜の強い畑では、大雨が降ると、表土の流亡が起きていましたが、リビングマルチを通路前面に播いている場合、流亡が避けられました。

3. 省力化 カボチャやサツマイモの通路にリビングマルチを播種すると、敷きワラ替わりになり、敷きワラを運びこみ敷く手間がかからずに大幅に削減される。



4. 天敵確保 ビニールハウス内ではバンカープランツを栽培していて、そこに付いている麦クビレアブラムシを、リビングマルチの早期に移植してやることにより、通常より早く天敵を確保することができ、アブラムシの発生を減少させられる。